

# 自己評価結果公表シート

## 1. 本園の教育目標

当園の教育方針は要約して

**「人としてそれぞれの個性をのびし  
敢為進取 責任自主 誠実勤労」**

即ち、何でも積極的に進んで事にあたる。自分のことは自分です。  
何事にも真心をもって骨おしみをしない。そういった人柄を育てる素地をつくりたいと心掛けております。  
真心をもつためには小さい時から宗教心の芽生えを培うことも大切だと思います。  
そんな配慮もしています。

## 当園の教育目標と体力と精神力と頭脳づくりをめざして

音感教育（絶対音感と集中力、鋭敏な感覚を育てる）

知能教育（幼児の思考力、理解力を育てるために）

漢字教育（幼児にとっては、「かな」より「漢字」が易しい。漢字で教える教育）

体育教育（危険を避ける敏捷な反射神経を養う教育）

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目により自己評価をすることで全職員が自園を直視し教育内容や施設の改良に取り組むことを目標とする。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組み
(1) 家庭及び地域における 幼児期の教育支援	A	未就園児クラスの適正な運営 前年より引続き、内容等より一層の充実を目指す
(2) 1、2歳児の保育について	A	3歳児への進級をスムーズにする為 3・4・5歳児の行事や日常保育での交流場 面を設ける
(3) 給食の充実	A	栄養士を採用し、より安全で栄養を重視した 園児に喜ばれるメニューに取り組む
(4) 新園舎建設にむけて	C	今期後半園庭が狭くなるので、遊び場の確保 について工夫する

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	取り組むべき課題につき、全職員が共通理解し自己評価することにより教育内容の向上を果たした

◎「3. 4.」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
(1) 新園舎への移行	教職員、園児、保護者の新園舎へのスムーズな移行をめざす
(2) 新園舎建設にむけて	前期より引続き、新しい園庭が出来るまでの間、遊び場の確保について工夫する
(3) 1号園児と2号園児の保育の連携	2号の園児が増えてぶどう組を設置 3・4・5歳児クラスのスムーズな連携をはかる
(4) 1歳・2歳組と兄弟3・4・5歳児の連絡	1歳から5歳までのきょうだい関係を把握し運営上に生かす